

2019年2月

各都道府県陸上競技協会・協力団体御中
公認記録申請ご担当者様

日本陸上競技連盟
競技運営委員会

ランキングシステムへの対応およびご協力のお願い

既に報じられておりますように、国際陸上競技連盟（以下 IAAF）の方針で、従来の標準記録突破方式から、年間を通じて集計され定められる「国際ランキング」方式によって国際大会の出場枠が決定されることになりました。記録だけでなく、その競技会の規模やレベルによってポイントが与えられランキング化される仕組みになっています。

対象は全世界で行われている（公認）競技会ですが、ランキングポイントの対象となるためには、大会の全記録が IAAF に報告される必要があります、国内の競技会の現状ではいくつかの問題点があります。

ランキングポイントに反映させるためには・・・

- 1) **競技者名**がアルファベット表記され、年齢（**生年**）が示されている必要がある。
- 2) **種目名**が英語表記されている必要がある。
- 3) **競技会名**および**競技場名**が英語表記されている必要がある。

日本のトップ競技者がより世界で活躍できるように、また、海外の競技者が国内で好成績をマークしたときに不利益とならないようにする等の観点から、国内の主要な競技会を手始めにこれらの対応に積極的なご協力をお願いいたします。

2019年度は、「都道府県選手権大会レベル以上の競技会」は特にご協力頂きますようにご検討をお願いいたします。

対応1：エントリーの際に、アルファベットでの氏名、生年の情報を得る。

（陸連登録システムから入手可、別紙参照）

苗字を全て大文字で表記すると誤解が少ない。（パスポートと同じ記載であることが原則。またはヘボン式ローマ字表記）※今後は陸連登録時に情報取得の方向

山田 太郎（1998年生） → Taro YAMADA(98) または YAMADA, Taro(98)

対応2：種目表記で、男子（M）、女子（F）、走高跳（HJ）などの表記をする。

※従来通り、規格（ハードルの高さ、投てき物の重さ）も加えて記載してください。

男子 100m → M100m

女子走高跳 → F-HJ

男子砲丸投 → M-SP(7.26kg)

対応3：競技会名を陸連で英語名を付与します。

（大会名英訳の一例）

2019 千葉県陸上競技選手権大会

→2019 Chiba Track & Field Championships

第34回神奈川県中学校陸上競技大会

→34th Kanagawa Junior High School track and field meet

第3回東京大学オープン競技会

Tokyo University All Comers' meets #3

対応4：競技場名の英語表記は日本陸連ホームページをご確認ください。

これらのデータを含む全結果を、従来の公認記録申請と別にメール送付してください。

日本陸連事務局ランキングシステム係（担当：関）

ランキングシステムデータ送信専用メールアドレス world-ranking@jaaf.or.jp